

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	単元	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	ガイダンス	3			
5	・生活や社会と材料と加工の技術 ・材料を利用するための技術 ・問題解決の手順 ・製作のための技能（木材） ・これからの材料と加工の技術	25	<ul style="list-style-type: none"> ●材料の組織や成分と、圧縮、引張、曲げ等に対する力学的な性質などの材料の特性についての科学的な原理・法則を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取ることができる。 ●材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
5			<ul style="list-style-type: none"> ●組み合わせる部材の厚さ、幅、断面形状と、四角形や三角形、面等の組み合わせる部材の構造、切削、切断、塑性加工、加熱などの加工の特性についての科学的な原理・法則を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活の中から材料と加工の技術と安全にかかわる問題を見いだして、課題を設定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の新しい考え方や捉え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。
6			<ul style="list-style-type: none"> ●材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題の解決結果や解決過程を評価できる。 ●課題の解決結果や解決過程の具体的な改善・修正案を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自らの問題解決とその過程をふり返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。
7			<ul style="list-style-type: none"> ●適切な図法を用いて、製作に必要な図をかくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して、材料と加工の技術の評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。
9			<ul style="list-style-type: none"> ●安全・適切に材料取りができる。 ●安全・適切に部品加工ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について提言できる。 	
10			<ul style="list-style-type: none"> ●安全・適切に組み立て・接合ができる。 ●安全・適切に仕上げと検査・点検ができる。 		
11			<ul style="list-style-type: none"> ●安全・適切に必要な応じた改善・修正ができる。 		
12			<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの学習と、材料と加工の技術が生活や社会に果たす役割や影響踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。 		
1	・生活や社会と情報の技術 ・情報の伝達	7	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りの生活や社会でのコンピュータの活用について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
2			<ul style="list-style-type: none"> ●情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 		
3			<ul style="list-style-type: none"> ●情報の表現、記憶、計算についての科学的な原理・法則や情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ●情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解し、メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 		

		<ul style="list-style-type: none"> ●情報通信についての科学的な原理・法則と情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明できる。 ●情報ネットワーク上で情報を利用する仕組みを説明できる。 		
	主たる評価材料	定期考査・小テスト・授業内での作品・実技テスト	プリント・レポート・活動報告書・定期考査の記述内容・授業内での作品など	レポート・主に作品を中心に作業・授業の取り組み・活動報告書と作品